

財団法人 先端医療振興財団 クラスター推進センターでは
医療機器に携わる地元中小企業、ポートアイランド進出企業等に対して
様々な支援メニューをご用意しています。

みなさまのアイデアを神戸で実現しませんか？

支援メニュー

相談サービス

薬事 / マッチング / 創業開発 /
知的財産 / その他

相談日：毎週水曜午前中(30分)
費用：無料

●ご予約は、医療機器サポートプラザへ
E-mail supportplaza@fbri.org

開発支援補助金

医療・健康・福祉分野で新製品や新素材の
開発に取り組む神戸市内中小企業等
に対して補助する制度

※神戸市内企業に限られます

補助率：1/2以内
補助限度額：単独枠 100万円/件
コンソ枠 200~1,000万円/件
公募時期：毎年5月~6月
※メールマガジン・ホームページでお知らせ

●詳しくは、神戸リエゾン・ネットワークへ
HP <http://www.kobe-liaison.net/hojo/20/>

情報サービス

図書閲覧サービス

利用時間：平日 9:00~17:00
費用：無料
主な書籍：専門書、業界紙など

掲示板サービス
メールマガジン【サポプラ便り】

●お問合せは、医療機器サポートプラザへ
E-mail supportplaza@fbri.org

事業化支援制度

薬事相談 / マッチング / 知的財産
/ 市場調査 / 技術支援 / 補助金
紹介

神戸において医療・健康・福祉関連製品の研究開発
又は事業化を行う優れた案件を支援する制度

●お問合せは、医療機器サポートプラザへ
E-mail supportplaza@fbri.org

神戸医療機器開発センター (MEDDEC)

○トレーニング施設

オープンな実験ラボ
医療機器の研究開発 / 医療機器のトレーニング

○研究開発拠点

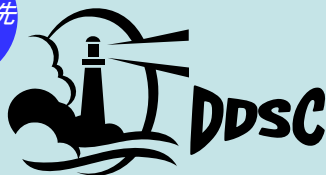
レンタルラボ・オフィス
トレーニング施設を優先して利用できるウェットタイプの
レンタルラボ・オフィスがあります。

●詳しくは、神戸医療機器開発センターへ
HP <http://www.meddec.jp/>

医療機器の開発を目指す方
神戸ではこのようなメニューを
そろえています



お問合せ先



(財)先端医療振興財団 クラスター推進センター
医療機器サポートプラザ 吉川、江頭
電話:078-306-0719 FAX:078-306-0752
E-mail supportplaza@fbri.org

国際フロンティア産業メッセ2011 併催セミナー

医療機器をデザインする 『医療機器デザインセミナー』

同時開催 / 国際フロンティア産業メッセ2011 [主催：国際フロンティア産業メッセ2011実行委員会]
ひょうご環境ビジネス展 [主催：(財)ひょうご環境創造協会 / ひょうごエコタウン推進会議]
みなと元気メッセ2011 [主催：㈱みなと銀行]
こうべしんきんビジネスメッセ [主催：神戸信用金庫]

後援 / 神戸市、神戸商工会議所、大阪商工会議所、近畿経済産業局、(公財)神戸国際医療
交流財団、(公財)神戸市産業振興財団、(公財)新産業創造研究機構
(特非)医工連携推進機構、(特非)近畿バイオインダストリー振興会議

国際フロンティア産業メッセ2011 併催セミナー

医療機器をデザインする 『医療機器デザインセミナー』

プログラム

開催の挨拶

13:00-13:05

(財)先端医療振興財団 クラスター推進センター

統括監 國枝 卓

1. 神戸医療産業都市における医療機器開発について～あゆみとこれから～

(財)先端医療振興財団 クラスター推進センター 医療機器サポートプラザ 吉川 典子

13:05-13:25

2. 薬事申請、上市を見据えた医療機器のデザインとグローバル展開

エマーゴジャパン株式会社 代表取締役社長 宮原 通晴

13:25-14:15

-5分間休憩-

3. イノベーションに絶対必要なデザイン思考～使用者視点を理解する～

株式会社メディシク 代表取締役社長 八村 大輔

14:20-15:10

4. 医療現場からヘルスケアにつながるグランドデザイン

神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野 特命講師 杉本 真樹

15:10-16:00

セミナー
終了後 ネットワーキング(名刺交換会)

～17:00

日時 / 2011年9月22日(木) 13:00-17:00

会場 / 神戸国際展示場 2号館 2A会議室

参加費 / 無料

1. 13:05-13:25



吉川 典子 (よしかわのりこ)

財団法人先端医療振興財団
クラスター推進センター 調査役
総括・中小企業相談担当
医療機器サポートプラザ

神戸医療産業都市における医療機器開発について ～あゆみとこれから～

要旨.

神戸医療産業都市構想の歩みと共に、この地域の医療機器に関する取り組みは少しずつ変化しています。ニーズを取ることからスタートし、人材育成にも取り組み、成果として現れたものは、事業化に進めています。この歩みについて紹介します。

さらにより良い医療に貢献するため、ニーズから事業化までのサイクルを作り上げ、そこに、デザインという概念を導入しようとしています。そのチャレンジについても紹介します。

メモ:

2. 13:25-14:15

薬事申請、上市を見据えた医療機器の デザインとグローバル展開

要旨.

ニーズ、シーズをもとにせつかく医療機器を設計・開発しても、製造販売承認・認証といった薬事申請をクリアできなければ市場に上市することはできず、せつかくの製品・技術を患者様にお届けすることができません。ここでは薬事申請を見据えた医療機器の設計・開発についてのポイントについて紹介いたします。

また、これからの医療機器市場については国内のみならず海外市場への展開も視野に入れられる企業も少なくないでしょう。ここではグローバルな視点での薬事コンプライアンスについても紹介したいと思います。



宮原 通晴 (みやはらみちはる)

エマーゴ・ジャパン株式会社
代表取締役社長

メモ:

3. 14:20-15:10

イノベーションに絶対必要なデザイン思考 ～使用者視点を理解する～



八村 大輔 (はちむらいたいすけ)
株式会社メディシン
代表取締役社長

プロフィール

医療・福祉業界にこそデザインやセンスが重要テーマになる、と活動を続けているLMDP(ライフ&メディカルデザイン・プラットフォーム)や話題のメディカル・デザイン・アワード、そして医療向けセグウェイの仕掛け人である八村氏が行っている研究・教育機関で注目の講演シリーズ。民放キー局や雑誌社などのメディア経験や医療業界でのプロモーション&マーケティングの経験を下に、デザインとは何か？そして業界にとって必要とされる、研究・商品開発へのデザイン導入法やその考え方をわかりやすく解説します。

要旨.

「機能が技術が良ければ売れる」は、成熟社会ではもはや幻想です。例えば、付加価値を機能で埋め尽くす考え方を一旦変えてみませんか？使い勝手が良くなければ、良さが伝わらなければ、そして気に入られるデザインでなければ今後は生き残れません。

iPhoneやiPadを国内メーカーは何故生み出せなかったのか？理解されることが重要なのに、マーケティングやプロモーション思考が後回しになるのは何故か？

技術一辺倒で苦戦し始めた日本の産業界がなかなか取り入れることが出来ない「デザイン」や「ユーザビリティ」といった”使用者視点”の考え方や、開発段階から取り入れるべきマーケティング思考の重要性をわかりやすく解説します。デザインを取り入れるとどう変わるのか？事例紹介も交えながら、医療・福祉業界では特にそうした観点が大きな成功要因につながる可能性に触れて頂きます。

メモ:

4. 15:10-16:00

医療現場からヘルスケアにつながるグランドデザイン

要旨.

いま日本の医療には、包括的な構造改革が求められている。現場思考を念頭にしながら、ヘルスケア、ライフケアまでも視野に入れたグランドデザインである。我々がこれまでにデザインしてきた、最先端医療から地域社会まで通じる、民主化されたテクノロジーを中心に、今後の展望を包括する。

メモ:



杉本 真樹 (すぎもとまき)

神戸大学大学院医学研究科
内科学講座
生命医学イノベーション創出人
材養成センター 特命講師
帝京大学医療情報システム研
究センター 客員教授
有限会社ニュートン・グラフィッ
クス 特別顧問

プロフィール

1996年、帝京大学医学部卒業。
帝京大学医学部付属病院、国立
病院東京医療センター、帝京大
学医学部付属市原病院(現帝京大
学ちば総合医療センター)、米国カ
リフォルニア州退役軍人局パロアルト
病院を経て、現職。

群馬大学大学院医学系研究科機能形態学非常勤講師、関西学院
大学非常勤講師を兼任。

臨床外科医であると同時に、医学教育、医療画像解析、手術ナビゲ
ーション、次世代低侵襲手術(NOTES, SPS)、ロボット手術などの研究開発
にも従事。2008年米国Apple Inc. Science/Medical部門web siteをデザ
イン(<http://www.apple.com/science/profiles/maki/>)